

# 舵を切る。安全保障

株式会社田舎 代表取締役 田舎 田舎



「舵を切る」とは、船が風や波に流されず、目的地に向かって進むための重要な技術です。経営においても、市場の変化や競争の激化に対応するために、舵を切る能力が求められます。

## 「舵を切る」瞬間に機能する法を

経営者として、舵を切る瞬間に機能する法を身につけることは、企業の存続と発展に不可欠です。ここでは、舵を切るための具体的な方法について解説します。

舵を切るには、まず現状を把握する必要があります。市場動向や競争相手の動きを常に監視し、自社の強みや弱みを明確に把握しましょう。

次に、舵を切るための具体的なステップを挙げてみます。1. 現状把握、2. 目標設定、3. 実行計画の策定、4. 実行と評価、5. 柔軟な対応の徹底、6. チームの士気向上、7. 継続的な学習と成長の促進、8. 顧客との信頼構築、9. 危機管理の徹底、10. 成功の振り返りと学びの共有。

舵を切る瞬間には、冷静な判断力と決断力が必要です。また、チーム全員が舵を切ることに理解と協力を示すことが重要です。経営者としての責任とリーダーシップを十分に発揮し、舵を切る瞬間に機能する法を身につけ、企業の未来を切り拓いてください。